

新大久保駅で亡くなった^{イ・スヒョン}李秀賢氏の想いを繋ぐ

～日韓交流の懸け橋をめざす韓国の高校生がオンラインで交流～

国際交流基金は、2001年にJR新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして犠牲になった、韓国人留学生の李秀賢（イ・スヒョン）氏の遺志を継ぎ、将来の日韓交流を担う韓国の高校生を2002年から毎年招へいしています。

本年は、新型コロナウイルスの影響により、昨年につき、オンラインで実施します。参加者は、韓国で日本語を学習し、日本に関心をもつ韓国の高校生15名です。日本の高校や大学等との交流活動を通じて、日本の文化や社会への理解を深める機会とします。本研修を通じて、故人について学び、同氏の功績を顧みると同時に、将来の日韓関係について若者の視点から考えます。

今回で21回目となる本研修の参加者は累計300名を超えます。研修をきっかけに、より一層日本に関わりたいと考えた参加者も多く、大学の日本関係学科に進んだり、日本へ留学や就職をしたりと、両国の懸け橋として活躍しています。

下記の日程でご取材いただけますので、広報担当までご連絡ください。



高校交流会の準備



京都オンラインツアー

記

事業名称：李秀賢氏記念韓国青少年研修（オンライン）

主催：国際交流基金 関西国際センター

開催日程：2022年1月13日（木）～1月28日（金）の16日間

1月14日（金）「李秀賢氏を知る」授業

1月21日（金）大阪府立佐野高等学校との交流

1月22日（土）オンラインホームビジット

1月24日（月）オンラインツアー（東京・京都・奈良）

1月25日（火）立命館大学国際関係学部との交流

協力：学校法人立命館大学国際関係学部、大阪府立佐野高等学校

主な内容：韓国で日本語を学習し、日本の社会文化に関心を持つ韓国の高校生を対象に、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めるための授業を実施すると共に、日本の同世代の青少年との交流を実施し、相互理解を深める機会を提供するプログラムです。本年はオンラインでの実施となりますが、オンラインツアーやオンラインホームビジットの実施、日本の高校生や大学生との交流を予定しています。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp